

江西省鄱陽湖で初めて発見されたクロツラヘラサギ

胡 斌 華

南昌市野生動植物保護管理ステーション

訳 福井和二

2004年11月20日午後5時頃、江西省南磯山自然保護区においてヘラサギの研究を行なっている香港の余日東先生から電話を戴き、彼とオランダから来ている海洋研究院のKees Swennen教授が、保護区の南部三泥湾湖(116° 17' 01.79" ~116° 19' 16.46" E, 28° 53' 43.59" ~28° 55' 05.95" N)のヘラサギ群中にクロツラヘラサギ1羽を発見したと伝えてきた。

我々は確認の写真を撮るために、11月21日の夜明けに、江西省科学院の林劍声氏および南昌テレビ局の廖劼と共に急ぎ南磯山自然保護区へ向かった。午前8時、我々は三泥湾湖東岸で、余日東、Kees Swennenらと合流した。この時、湖面には大量の水鳥がいた。水鳥の中にコウノトリ1羽、ヘラサギ約160羽、アオサギ33羽、ヒシクイ約150羽、ハイイロガン約550羽、識別不能なカモ類300余羽、タゲリ約210羽、ツルシギ約2000羽を観察した。ヘラサギは湖の東南端の西側の岸近く、水深20cmほどのところに帯状に分布していた。三泥湾湖の面積は約260ha。湖の形はU字状を呈しており、岸と堤の間は密生したヨシに環状に囲まれた沼や泥状の干潟がある。

午前9時頃、すでに余日東と林劍声が詳細に観察して探し当てているクロツラヘラサギをソニーカメラに20倍コーワ単眼鏡を接続し、連続撮影して、鮮明なクロツラヘラサギの行動の記録映像を録画することができた。余日東はクロツラヘラサギの世界共同調査員で、彼によるとクロツラヘラサギが鄱陽湖で初めて確認された記録写真であるとのことである。